
調査報告

2020年東京オリンピック・パラリンピック 関連する仕事への興味【個人編】、雇用の取り組み【企業編】

—求職者の4人に1人は東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアに興味あり。専業主婦／主夫・無職の「新しく仕事を始める」きっかけにも—

ジョブズリサーチセンターでは、各種調査のなかで2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する興味、取り組みなどを調べ、まとめましたのでご報告いたします。

【個人編】

- 仕事を探している求職者のうち、4人に1人が東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアに興味があると回答。(P2)
- 興味は関東が最も高いが、それ以外の地域では差がほとんどみられない。また、男性15～24歳、30～39歳で興味が高い。(P3)
- 求職中の専業主婦／主夫や無職で興味がある人は、2人に1人が東京オリンピック・パラリンピックに「新しく仕事を始めて関わる」と回答。働き始めるきっかけにもなると考えられる。(P4)
- 現在働いていて興味がある人は、4割前後が「現在の仕事に加えて、副業として関わる」、また3割以上が「ボランティアとして関わる」。(P4)
- 興味がある職種は「販売・飲食店スタッフ」37.7%、「宿泊施設スタッフ」31.2%、「観光ガイド・通訳」29.0%など。(P5)
- 「現在の仕事を辞めて、転職して関わる」と考える求職者は、「警備員・交通整理」24.3%や「タクシー・バス運転手」20.6%に対しても興味比較的高い。(P6)

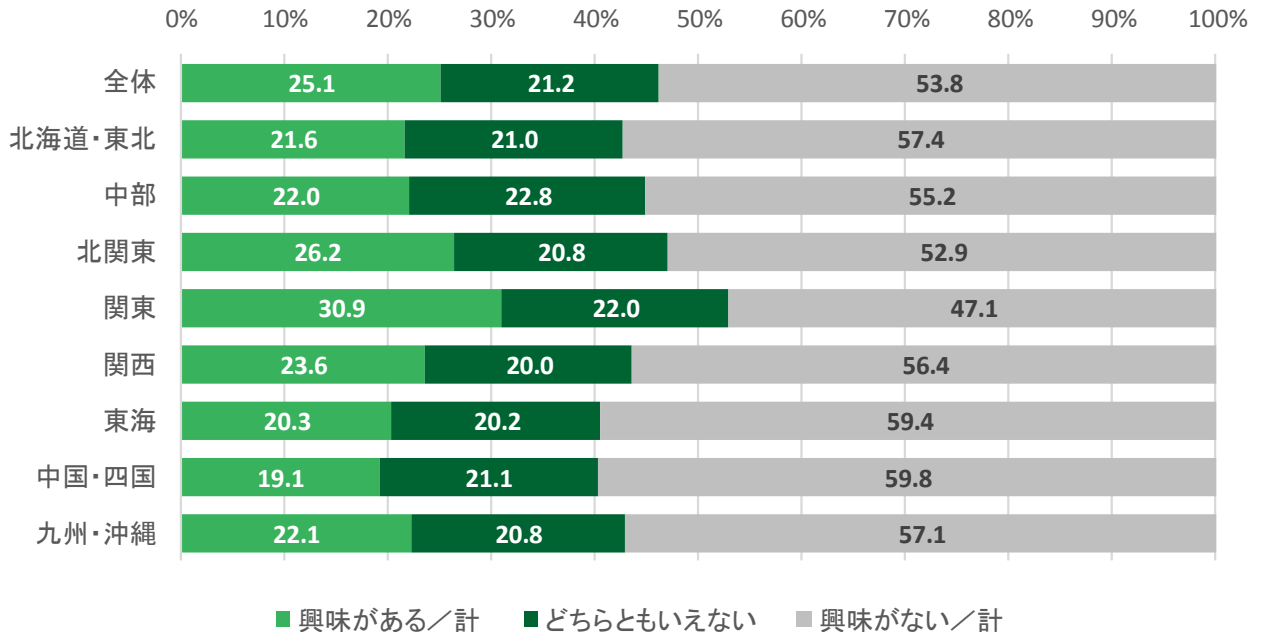
【企業編】

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「語学に関する研修、能力開発の強化」15.3%と同等に「接客やマナーなど、顧客満足度向上のための研修、能力開発の強化」13.3%に取り組んでいる。(P8)
- 「従業員がオリンピック・パラリンピックのボランティアに参加できるためのボランティア制度の設計、導入」5.4%も少数ではあるが検討している企業もある。その他の取り組みでは、「全社員での観戦ツアーを計画している」(近畿／塾、予備校、各種学校／2,000～5,000人未満)といった声もあった。(P8)

お問い合わせ先 <http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html>

■ 東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアへの興味

- 「とても興味がある」5.6%、「どちらかというに興味がある」19.5%で全体の25.1%、4人に1人は興味があると回答。
- 地域別にみると、「興味がある」が最も高いのは関東30.9%だが、他地域も2割前後いる。広い地域で関連する仕事・ボランティアに興味を持つ人がいることがわかる。



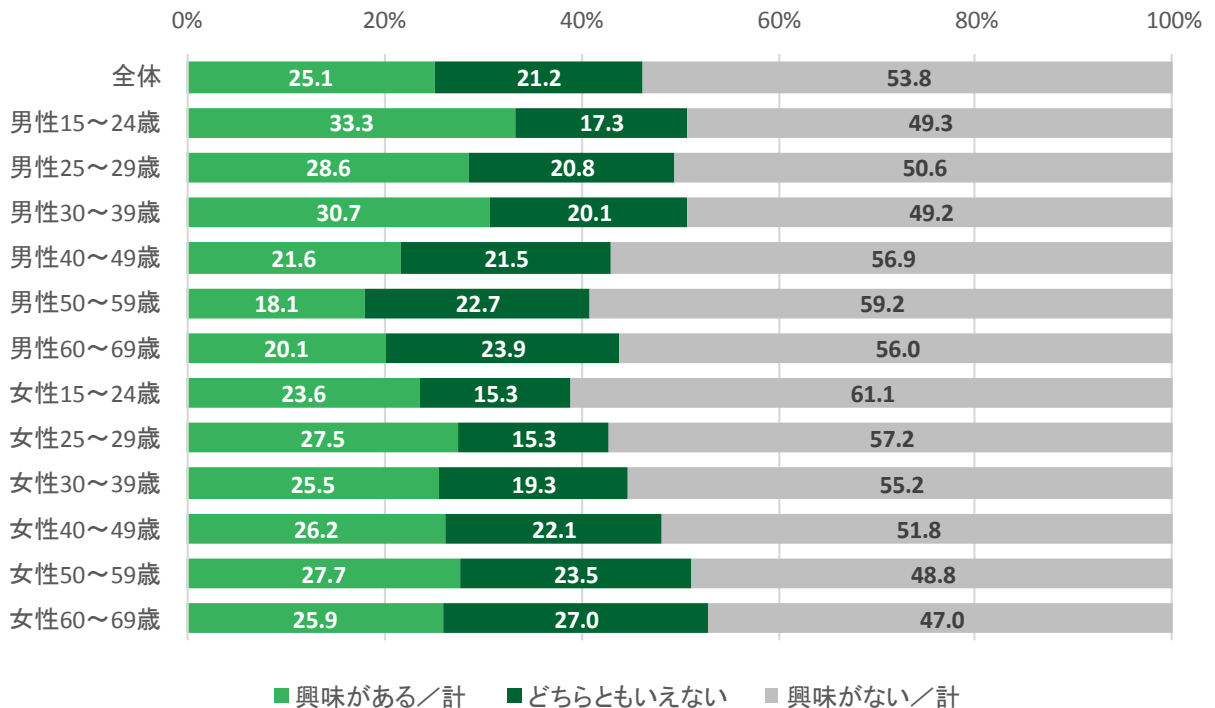
	n=	興味度					計 (%)	
		とても興味がある	どちらかというに興味がある	どちらともいえない	あまり興味がない	まったく興味がない	興味がある計	興味がない計
全体	15486	5.6	19.5	21.2	25.7	28.1	25.1	53.8
北海道・東北	1653	4.2	17.4	21.0	27.9	29.5	21.6	57.4
中部	785	4.2	17.8	22.8	24.8	30.3	22.0	55.2
北関東	648	5.1	21.1	20.8	25.9	27.0	26.2	52.9
関東	5264	7.9	23.0	22.0	22.9	24.2	30.9	47.1
関西	2895	4.7	18.8	20.0	26.7	29.7	23.6	56.4
東海	1716	4.1	16.3	20.2	28.6	30.9	20.3	59.4
中国・四国	1127	3.9	15.2	21.1	27.0	32.8	19.1	59.8
九州・沖縄	1398	4.4	17.7	20.8	27.1	30.0	22.1	57.1

Q：2020年東京オリンピックに関わる仕事・ボランティアに興味がありますか。（単一回答）

数表の見方：全体より+5ポイント以上は反転シロヌキ、-5ポイント以上はグレーアミカケ

■ 東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアへの興味

- 性年代別にみると、「興味がある」が最も高いのは男性15～24歳で33.3%、続いて男性30～39歳の30.7%。男性15～24歳は「とても興味がある」が14.7%で1割を超えている。

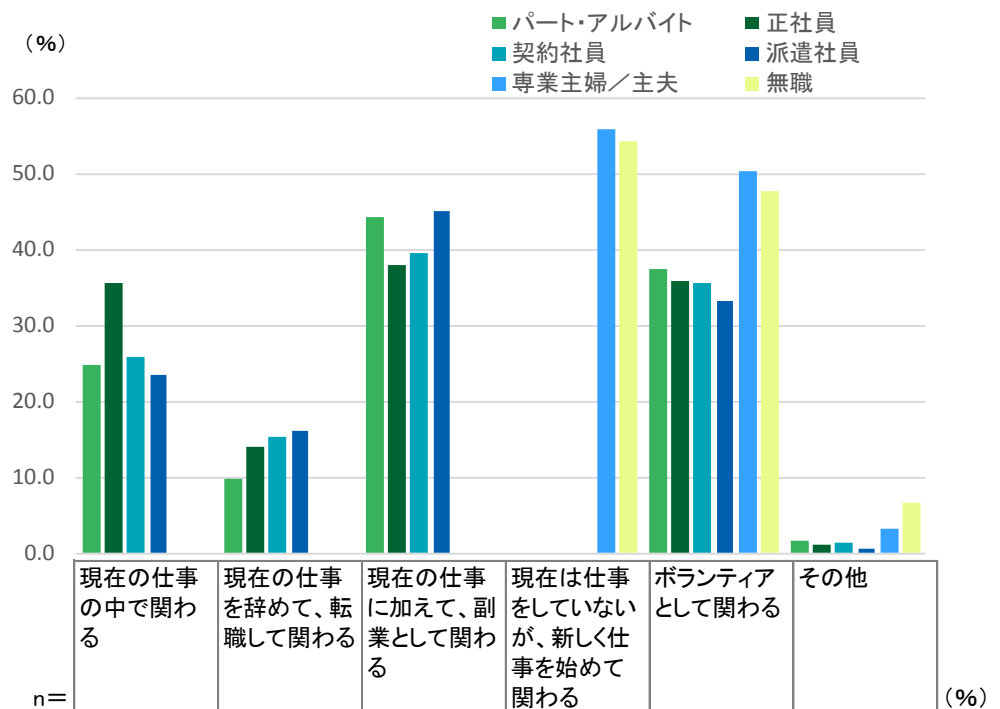


	n=	興味レベル					興味レベルの計 (%)	
		とても興味がある	どちらかというに興味がある	どちらともいえない	あまり興味がない	まったく興味がない	興味がある計	興味がない計
全体	15486	5.6	19.5	21.2	25.7	28.1	25.1	53.8
男性15～24歳	75	14.7	18.7	17.3	12.0	37.3	33.3	49.3
男性25～29歳	269	8.2	20.4	20.8	21.6	29.0	28.6	50.6
男性30～39歳	1045	9.0	21.7	20.1	18.4	30.8	30.7	49.2
男性40～49歳	1661	4.3	17.3	21.5	23.3	33.6	21.6	56.9
男性50～59歳	1159	4.0	14.2	22.7	26.5	32.7	18.1	59.2
男性60～69歳	1194	4.7	15.4	23.9	31.2	24.8	20.1	56.0
女性15～24歳	411	3.6	20.0	15.3	27.5	33.6	23.6	61.1
女性25～29歳	1168	6.0	21.5	15.3	27.7	29.5	27.5	57.2
女性30～39歳	2904	5.2	20.3	19.3	26.7	28.5	25.5	55.2
女性40～49歳	3227	5.6	20.6	22.1	25.2	26.6	26.2	51.8
女性50～59歳	1833	6.2	21.5	23.5	26.1	22.7	27.7	48.8
女性60～69歳	540	6.1	19.8	27.0	27.2	19.8	25.9	47.0

Q：2020年東京オリンピックに関わる仕事・ボランティアに興味がありますか。（単一回答）

■ 東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアへの関わり方

- 専業主婦／主夫、無職で「現在は仕事をしていないが、新しく仕事を始めて関わる」がともに5割を超えており、働き始めるきっかけにもなると考えられる。
- パート・アルバイトや正社員など、現在働いている人では、「現在の仕事に加えて、副業として関わる」がいずれも4割前後で高い。居住地や事業内容からオリンピック・パラリンピックに現在は縁がなくても、単発や短期間での仕事で機会があれば関わりたいといったニーズが表れていそう。

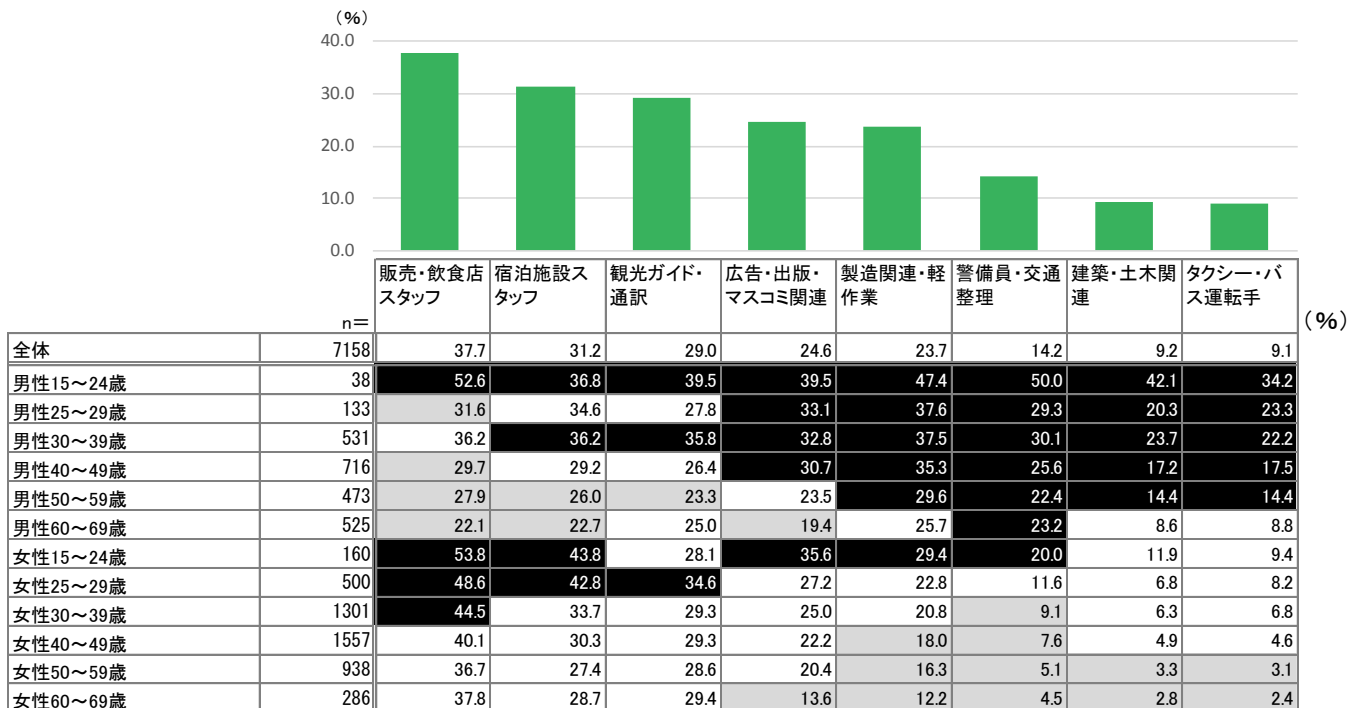


	n=	現在の仕事の中で関わる	現在の仕事を辞めて、転職して関わる	現在の仕事に加えて、副業として関わる	現在は仕事をしていないが、新しく仕事を始めて関わる	ボランティアとして関わる	その他
パート・アルバイト	2166	24.8	9.8	44.1	-	37.5	1.6
正社員	1968	35.5	14.0	38.0	-	35.9	1.2
契約社員	525	25.9	15.4	39.6	-	35.4	1.3
派遣社員	493	23.3	16.0	45.0	-	33.3	0.6
専業主婦／主夫	1202	-	-	-	55.7	50.2	3.2
無職	804	-	-	-	54.2	47.8	6.7

Q：2020年東京オリンピックに関わる仕事・ボランティアをするとしたら、どのような形でしたいですか。（複数回答）
（ベース：とても興味がある、どちらかというに興味がある、どちらともいえない n=7,158）

■東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアで興味がある職種

- 興味がある職種は「販売・飲食店スタッフ」が最も高く、次いで「宿泊施設スタッフ」「観光ガイド・通訳」と続く。
- 男性のほうが女性よりも幅広い職種に興味があり、「建築・土木関連」「タクシー・バス運転手」に対しても興味比較的高い。



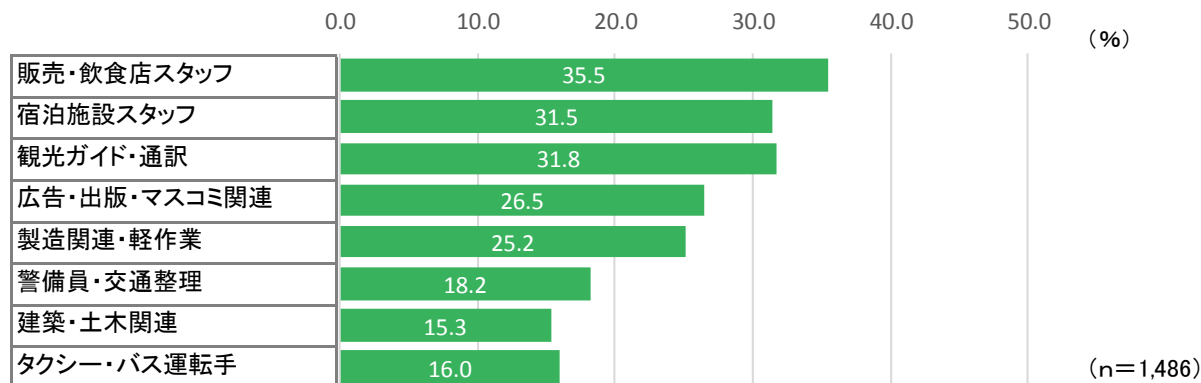
Q：2020年東京オリンピックに関わる仕事・ボランティアをしたら、どのような職種に興味がありますか。（複数回答）
（ベース：とても興味がある、どちらかというと興味がある、どちらともいえない n = 7,158）

数表の見方：全体より+5ポイント以上は反転シロヌキ、-5ポイント以上はグレーアミカケ

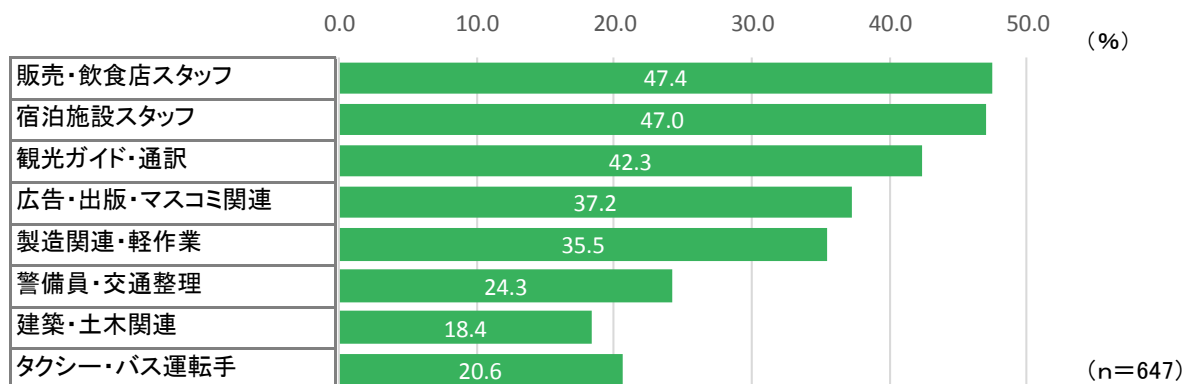
■ 東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアで興味がある職種

- 関わり方別に興味がある職種をみると、「現在の仕事を辞めて、転職して関わる」（下記2）と考える求職者は、「警備員・交通整理」24.3%や「タクシー・バス運転手」20.6%に対しても興味が比較的高い。

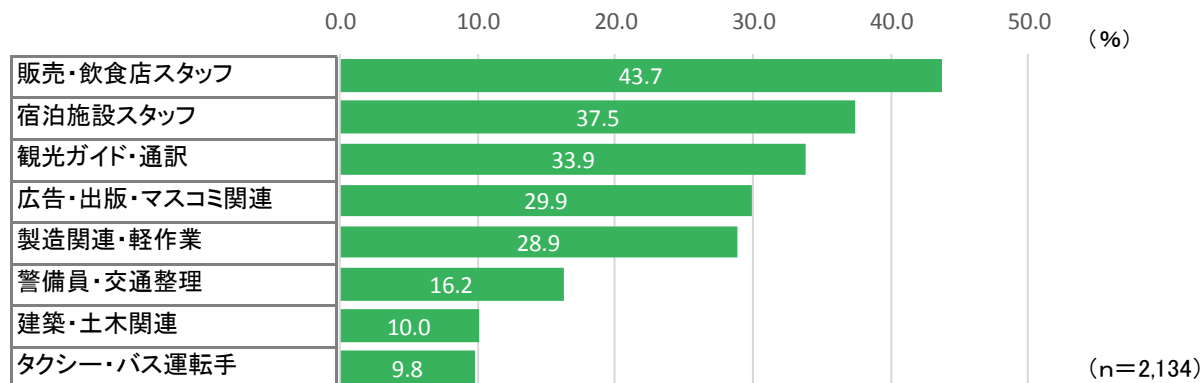
1、現在の仕事の中で関わる場合



2、現在の仕事を辞めて、転職して関わる場合



3、現在の仕事に加えて、副業して関わる場合の職種

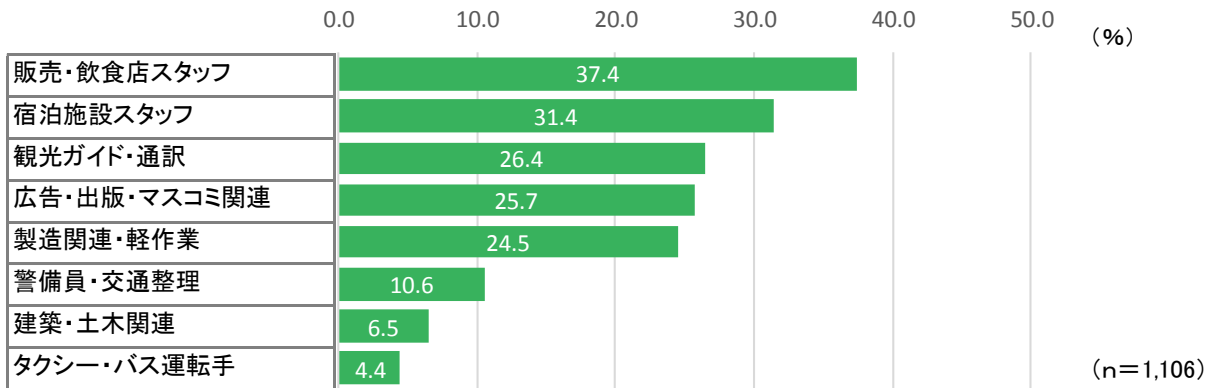


Q：2020年東京オリンピックに関わる仕事・ボランティアをするとしたら、どのような職種に興味がありますか。（複数回答）

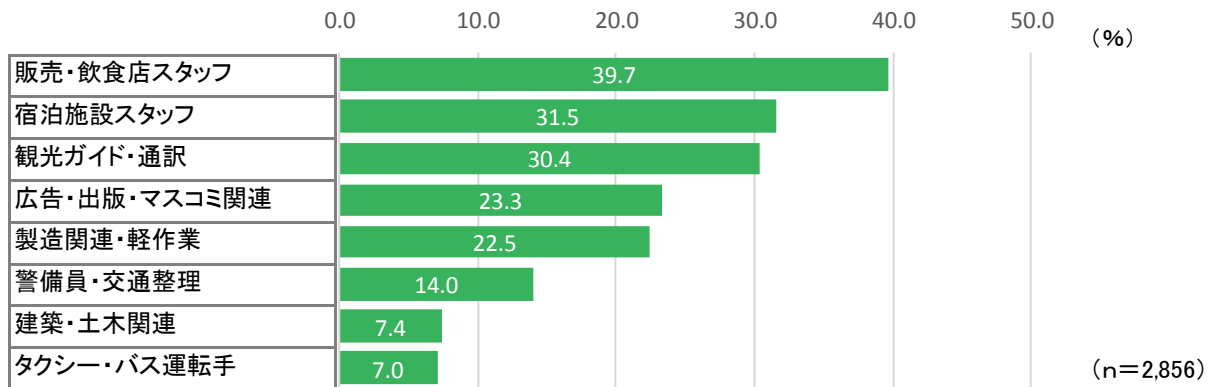
■東京オリンピック・パラリンピックに関わる仕事・ボランティアで興味がある職種

- ボランティアとして関わる（下記5）職種も、他同様に「販売・飲食店スタッフ」「宿泊施設スタッフ」が上位に。幅広い職域でのボランティアニーズがありそうだ。

4、現在は仕事をしていないが、新しく仕事を始めて関わる場合



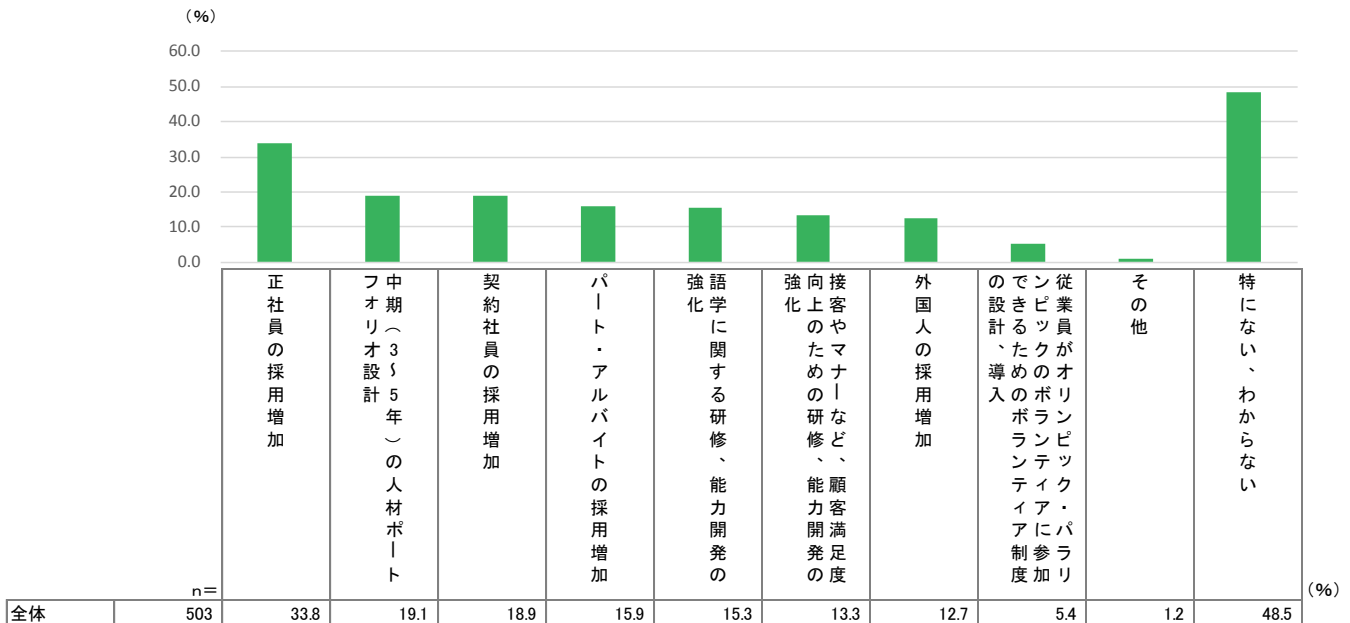
5、ボランティアとして関わる場合



Q：2020年東京オリンピックに関わる仕事・ボランティアをするとしたら、どのような職種に興味がありますか。（複数回答）

■東京オリンピック・パラリンピックに向けた雇用関連の取り組み

- 企業の取り組みは、「語学に関する研修、能力開発の強化」15.3%と同等に「接客やマナーなど、顧客満足度向上のための研修、能力開発の強化」13.3%にも取り組んでいる。
- 【個人編】でみたボランティアでの関わりを推進できるように「従業員がオリンピック・パラリンピックのボランティアに参加できるためのボランティア制度の設計、導入」は5.4%で少数ではあるが取り組んでいる企業もある。

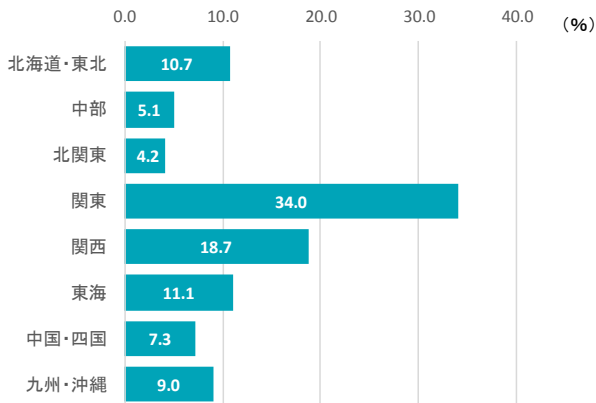


- 英会話ができる社員・パートの人材を増やす（関東/その他小売業/5,000~10,000人未満）
- アルバイトの確保は死活問題になると予想しているので2019年迄に積極採用する。（近畿/塾、予備校、各種学校/100~300人未満）
- 社員の英語力の強化。（関東/IT関連業/300~500人未満）
- 全従業員が英語を話せるように、留学奨励とオンライン英会話の受講を促進。（関東/各種サービス業/100~300人未満）
- 職員マナーの向上・全車禁煙化。（関東/その他/300~500人未満）
- グローバル人材の確保と社員教育の徹底。（近畿/銀行、金融、証券、保険/10,000人以上）
- 外国人の積極的採用。（関東/不動産/1,000~2,000人未満）
- ボランティアの奨励（中部/IT関連業/500~1,000人未満）
- 全社員での観戦ツアーを計画している。（近畿/塾、予備校、各種学校/2,000~5,000人未満）

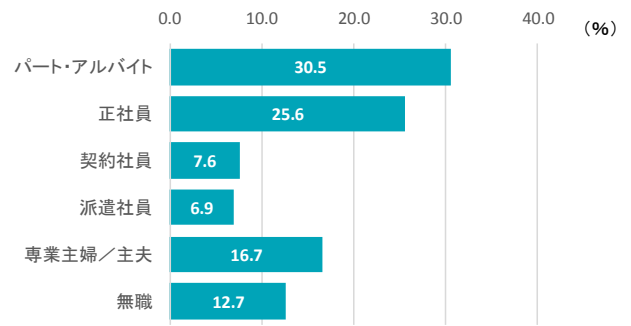
Q：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、貴社では雇用関連について、現時点（2017年9月）で何か取り組みを始めていますか。あてはまるものをお選びください。（複数回答）

回答プロフィール【個人編】 (n = 15,486)

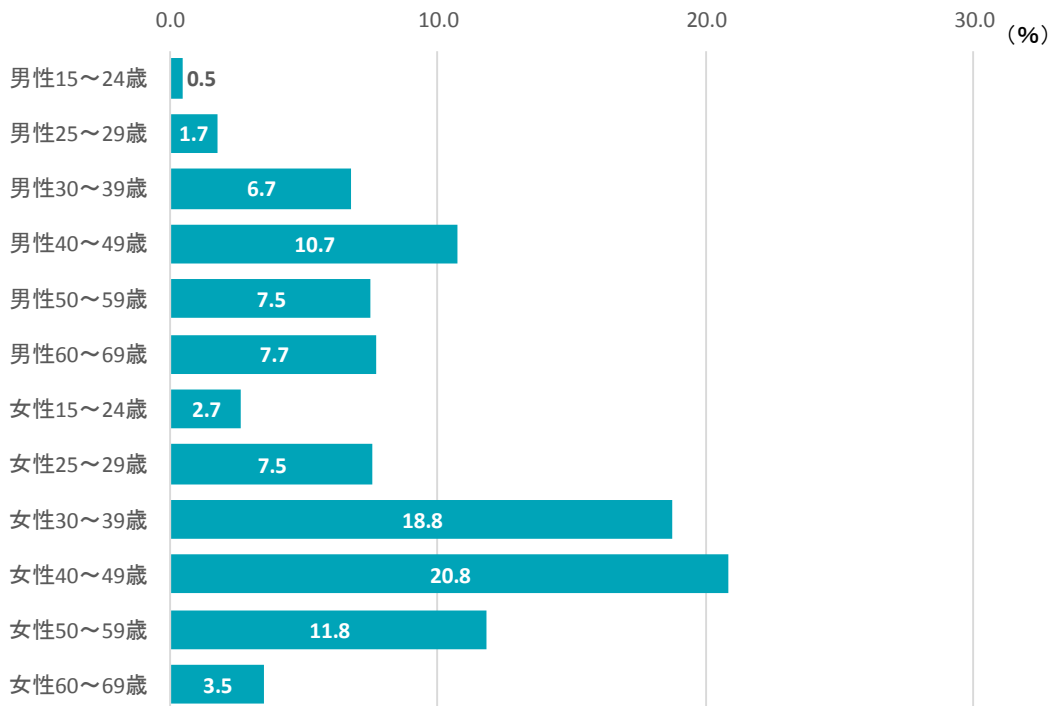
■ 地域



■ 就業形態

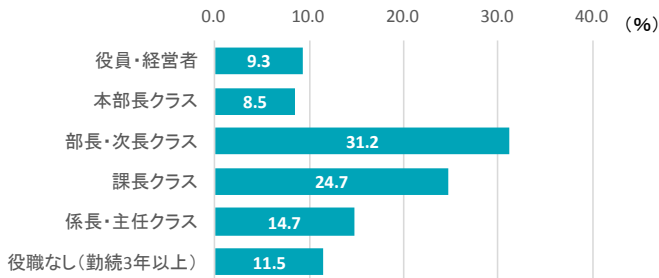


■ 性年代

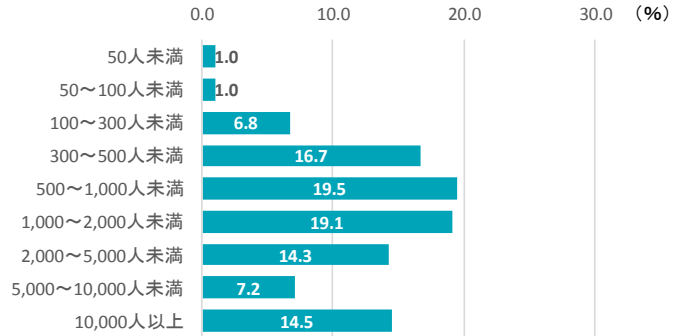


回答プロフィール【企業編】 (n = 503)

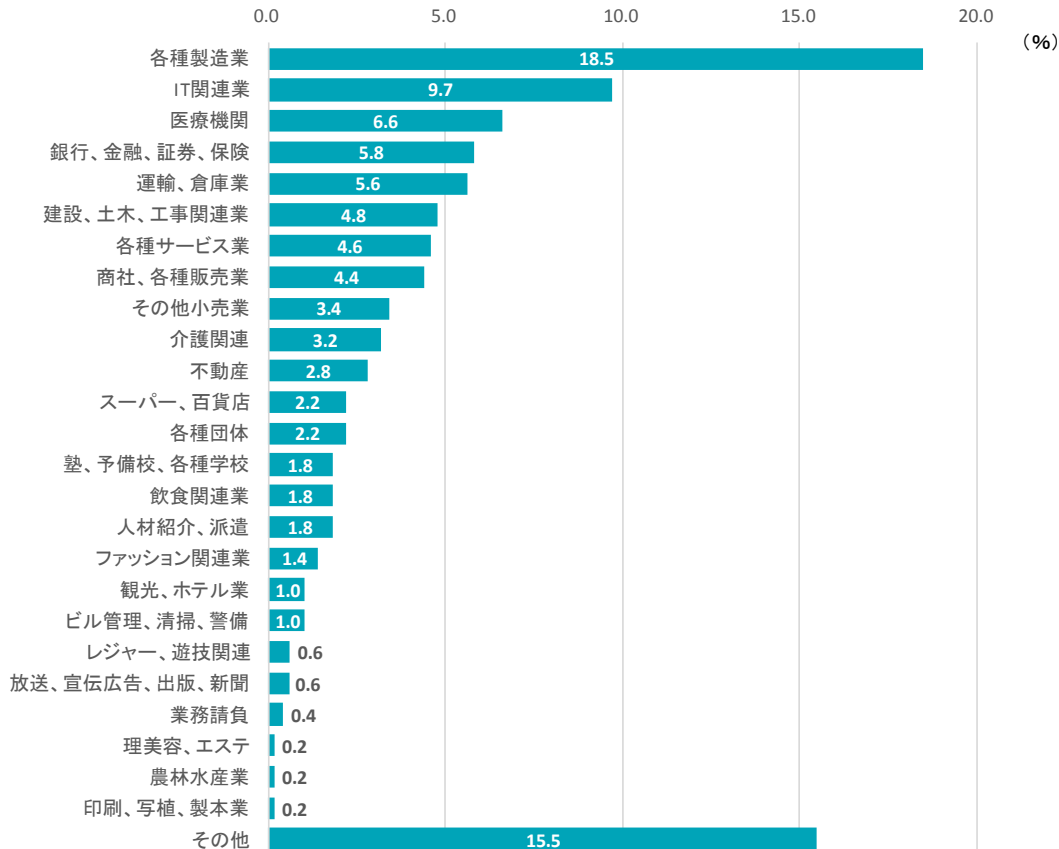
■ 役職



■ 従業員数



■ 業種



調査概要

	個人編	企業編
調査タイトル	求職者の動向・意識調査2017 (追加調査)	雇用の多様性に関する調査2017
調査手法	インターネット調査	
調査期間	2017年9月27日(水)～9月29日(金)	2017年09月27日(水)～9月30日(土)
対象者条件	<ul style="list-style-type: none"> • 全国15～69歳の男女 • 最近1年以内に仕事探し経験あり(新卒以外) • 現在および仕事探し当時の職業がアルバイト・パート、契約社員、派遣社員、正社員、専業主婦/主夫、無職・定年退職のいずれか 	<ul style="list-style-type: none"> • 全国 • 従業員数300人以上の法人企業もしくは、従業員数100人以上の事業部門の人事担当者、かつ勤続3年以上 • 企業・事業部門内に正社員と非正規社員をともに雇用していること
有効回答数	15,486	503
参考	http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20171030_723.html	

お問い合わせ先 <http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html>